

鹿児島県漁海況週報

令和4年10月6日発行(9月29日～10月5日)
第2973報【旧暦：9月4日～9月10日/月齢3.2～9.2/潮汐：中潮～長潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

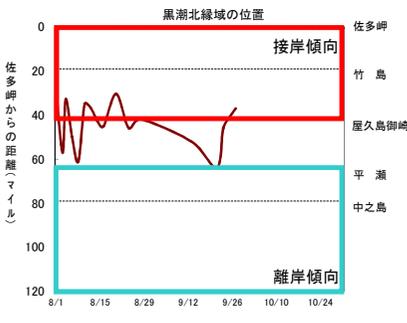
鹿児島-那覇定期客船観測は測定機器の調整のため欠測。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、10月4日現在、47マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

鹿児島-那覇定期客船観測は測定機器の調整中。甌海峡では、先週と比較して0.8℃降温し、平年比較では“かなり高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-
佐多岬	-	-	-	-
竹島	-	-	-	-
屋久島御崎(永田岬)	-	-	-	-
中之島	-	-	-	-
笠利崎	-	-	-	-
与路島	-	-	-	-
与論	-	-	-	-
甌海峡	27.3	-0.8	+1.9	かなり高め

鹿児島-那覇定期客船(クイーンコーラルクロス)観測は、測定機器の調整中。(データは水産庁「水産資源調査・評価推進委託事業」で取得)
串木野-甌定期客船(フェリーニューこしき)観測は、10/5

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、ツムブリ(2～3kg)が150～400kg/日、カマスサワ(5kg)が200kg/日、1日のみカンパチ(1kg)が200kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でカンパチ(1～1.5kg)が1.4t、ツムブリ(2kg)が230kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で34統がフリ、ウルメイワシ、カンパチ主体に22tの入網。志布志湾南部海域では、週計でフリ、カンパチ、マルソウダ主体に10.2tの入網。

○バショウカジキ情報

甌島海域では、流し網で1日のみ15～30kgを14尾/隻の漁。西薩海域では、流し網で20～25kgを4～5尾/隻・日の漁。西薩南部海域では、定置網で25～30kgを5～9尾/日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中トビを40箱/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを70～175箱/統・日、セトビを2～3箱/統・日、青トビを1日のみ1箱/統の漁。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、6～11箱/隻・日の漁。種子島海域では、10箱/隻・日の漁。

(旋網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2924)

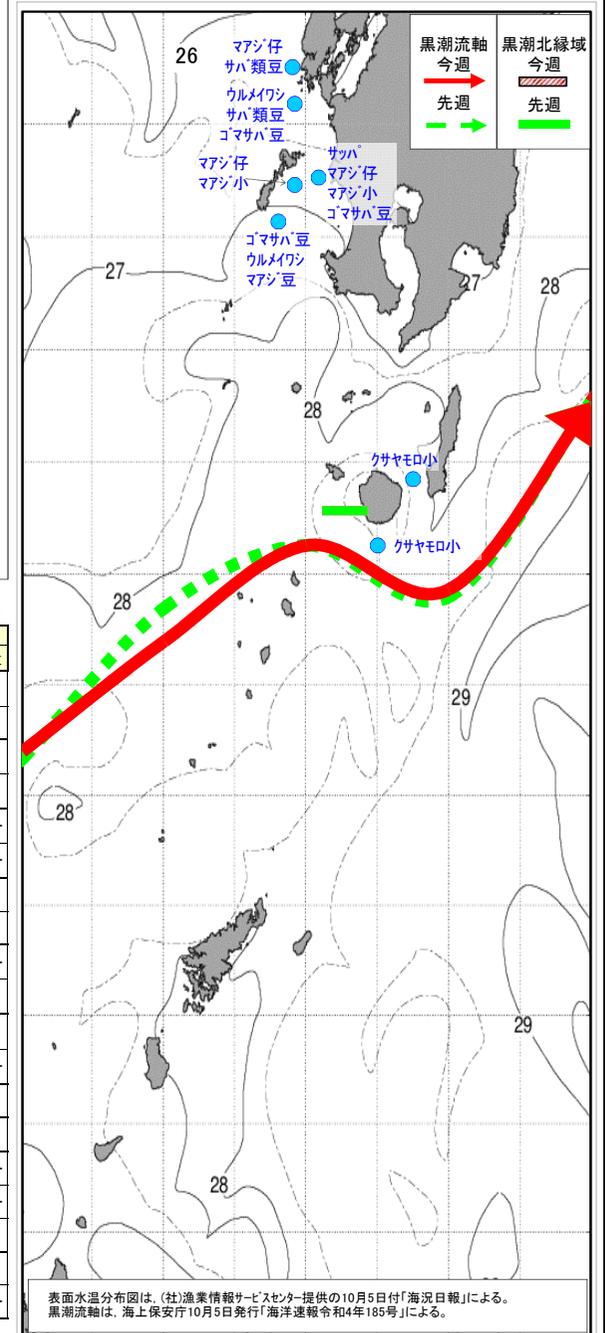
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期	
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	7	214	天草沖 牛深沖 マジ仔38 ウルメイワシ30 サバ類23	30.5	11	355	3	21
		中	7	83	甌東 串木野沖 マジ仔21 サバ16 マジ小16	11.9	6	131	20	158
	枕崎	大	14	421	牛深沖 甌下 屋久島南 ゴマサハ豆33 ウルメイワシ24 マジ豆22	30.1	13	614	2	17
		中	14	191	甌下 屋久島南 島間沖 串木野沖 ウルメイワシ27 ゴマサハ豆22 クサヤモロ小19	13.7	20	774	4	99
	内之浦	中	0	-	-	-	0	-	0	-
	山川	中	0	-	-	-	0	-	0	-
計	大	21	635	-	-	30.2	24	969	5	38
	中	21	274	-	-	13.1	26	904	24	257
東海旋網	阿久根	0	-	-	-	0	0	0	0	-
	枕崎	0	-	-	-	0	2	58	6	572
棒受網	阿久根	53	151	阿久根沖 長島	ウルメイワシ86 マジ小11	2.8	62	291	42	71
	内之浦	0	-	-	-	0	0	0	0	-
定置網	内之浦	34	22	-	フリ44 ウルメイワシ9 カンパチ9	0.6	32	30	36	12
刺網	阿久根	大	0	-	-	0	0	0	0	-
		小	0	-	-	-	0	0	0	-
	海旋	1	765	-	カツオ中75 カツオ小12 キハダ11	765.0	0	-	1	690
	山川	中	4	46	-	カツオ小53 キハダ46	11.5	3	17	2
	海旋	2	1394	-	カツオ小60 カツオ中17 キハダ12	697.2	0	-	0	-

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、ブリ(4～5kg)を50～100尾/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、ブリ(1.2～6kg)を545尾/隻・日の漁。

○その他

西薩海域では、小型底曳網でツキガイ(100g)を50～100kg/隻・日の漁。一本釣りですシアラ(3kg)を9～37kg/隻・日、カンパチ(1～2kg)を10～20kg/隻・日の漁。曳網でカマスサワ(3kg)を30kg/隻・日の漁。延縄でアカマダイ(300g)を8～25kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、小型底曳網でヒナガエビを50～150kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、たもすくいでもウオ(200g)を8～30箱/隻・日の漁。志布志湾海域では、小型底曳網でマダイ(1～3kg)を30kg/隻・日の漁。屋久島海域では、ハマダイ(1～4kg)を150kg/隻・日、メダイ(5～6kg)を70～80kg/隻・日、カンパチ(4～20kg)を50kg/隻・日、ゴマサハ(500～600g)を30尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、一本釣りの3～5日操業でヒナガ(10～20kg)を168kg/隻、キハダ(30kg)を102kg/隻、カツオ(10kg)を80kg/隻、メハチ(10～19kg)を56kg/隻、一本釣りの日帰り操業でアオダイ(0.8～1.2kg)を25kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の10月5日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁10月5日発行「海洋速報令和4年185号」による。